

# 集え!新しい「交通安全」を考える スマートドライバーたちよ!

“SMART DRIVER FORUM”は

企業から行政まで、幅広い分野のプレイヤーが次々に登壇し

「新交通安全創造力の時代」をテーマに、

領域・業界を越えたディスカッションが繰り広げられるひらかれた場です。

ドライバー一人ひとりの思いやりの力を増やすことで交通事故を減らす。

「市民主体型の交通安全」として2007年に発足した

“スマートドライバープロジェクト”も、今年で11年目を迎えました。

この間、沢山の共感を生み出し仲間が増えて行きました。

そして、自動運転、自転車人口やシェアリングエコノミーの増加、

超高齢化社会など…道路やモビリティも多様化し、

私たちの「交通安全」意識も変化を求められています。

クルマが変わり、ミチも変わり、マチが変わる。

まさに「新交通安全創造力の時代」が到来しているのです。

-----交通安全はこのままでいいのか?

この新しい時代を肌で感じられ、一緒に考える仲間が集い、

新しい「交通安全」を考えるために

“SMART DRIVER FORUM”を開催します。

## キーノートスピーカー紹介



ブルックリンに奇跡を起こした男。  
交通安全をテーマに何を語るか?

TOTEM代表  
元ダウタウン  
ブルックリン  
パートナーズ代表

タッカー・  
リード

## PROGRAM

12:00 開場 MC:山名 清隆、萩尾 友樹

13:00 開演 / オープニングトーク

小山 薫堂 (日本スマートドライバー機構発起人/放送作家)

家入 一真 (株式会社 CAMPFIRE 代表取締役/起業家)

石川 善樹 (予防医学研究者)

13:15 キーノートスピーチ

「ブルックリンを変えた男 /

都市に大きな物語を描く方法」

タッカーリード (TOTEM代表/元ダウタウンブルックリン パートナーズ代表)

14:15 プレゼンテーションラッシュ

泉山 聖威 (タクティカル・アーバニスト/都市戦術家)

森口 将之 (モビリティジャーナリスト)

中島 宏 (DeNA オートモーティブ事業本部 本部長)

森山 誠二 (国土交通省 道路局 環境安全課長)

片山 英資 (福岡スマートドライバー代表/ツタワルドボク代表)

長谷川 哲男 (日産自動車(株)グローバル技術渉外部)

浪川 和大 (警視庁 交通部 交通規制課)

15:15 ディスカッションタイム

コメンテーター:小山 薫堂、家入 一真、石川 善樹

16:00 ミートアップタイム (ホワイエにて開催)

※プログラムは当日変更の可能性がございます。

ジャパンスmartドライバー機構は、この先、交通安全はもっとポジティブなものに進化すると考えています。守る安全からまちと人とつながりで安全を創造する方へ。そこで、大きなビジョンを描きダイナミックに都市の価値を変えたタッカーリードさんにお話しいただき、領域を超え大胆に未来を作るヒントにしたいと思います。

タッカー・リード氏は、現在ニューヨークブルックリンを拠点とする不動産及び経済開発企業であるトータムの共同創立者兼代表です。それ以前はブルックリンのまちづくりをリードする BID「ダウタウン・ブルックリン・パートナーシップ」(DBP) の代表でした。その5年間に、エリアの経済・文化・観光の価値を劇的に変える施策を次々に展開。中でもブルックリン・テック・トライアングルという広域再生計画は、100億ドル以上の投資を呼び込み、何万という仕事や住居を生み、現在のようにブルックリンを世界が注目する街に変えました。また DBP 以前には、ブルックリン再生のきっかけとなった DUMBO 地区の改革を率いたり、米商務省の仕事でバグダットの再建に携わったり、トゥーツリーズ・マネージメント・カンパニーの特別事業本部長として約2億ドルの不動産開発事業に携わったりしました。現在彼は、ニューヨーク大学の教授でもあり、ブルックリン・ブリッジ・パークの理事でもあります。トータム創業直前に出されたニューヨーク・タイムズの単独インタビュー記事の中で、タッカー氏は自分の仕事の方向性について、「都市がどう機能すべきかについて自分がこれまで培ってきた様々なアイデアを、これから実践していきたい」と語っています。